

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	土屋 尚代
	全体計画			経費区分	-	内線	246-2104
事務事業名	4276 学校給食センター管理事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	12010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費					
	事業	020000 学校給食センター管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
安全でおいしく、ていねいに真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をとおして児童生徒の食育推進を図る。				「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携を図り、児童生徒への食育を計画的に進める。 また、地域食材の活用や行事食献立等をとおして、地域や文化などを知る機会とする。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進めた。地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や食文化などを知る機会とした。「つながる食育推進事業」を実施した。	「須崎市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と児童生徒への食育を計画的に進める。地域食材の活用や行事献立等を通して、地域や食文化を知る機会とする。「つながる食育推進事業」のさらなる展開を図る。食物アレルギー対応食の提供を行う。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	学校給食県産農産物利用状況調査				
算式	県内産食品数÷全食品数×100 (6月・11月率平均)				単位   %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	47.5			
	実績				
指標選定の理由	学校給食における県内産農産物利用率(全县・食材数ベース) 長野県食育推進計画における達成目標値				
最終年度目標の根拠					
指標名	地産地消の推進				
算式	野菜・果物 市内産購入量(kg)÷全体購入量(kg)×100				単位   %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	12.3			
	実績				
指標選定の理由	市内産農産物を学校給食で出来るだけ多く利用する				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位   %
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		499,704	541,009
特定財源	国庫支出金	2,305	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	229,061	271,082
一般財源		268,338	269,927
人員数(人)	正規職員	0.5	0.7
	嘱託職員	0.8	0.9
	臨時職員	0.9	1.4
人員コスト	正規職員	3,484.0	4,877.6
	嘱託職員	2,519.2	2,834.1
	臨時職員	1,510.2	2,349.2
	計	7,513.4	10,060.9
市民一人当たりの経費		9.7	10.5
総額		507,217.4	551,069.9

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	30	アレルギー講演会講師30
10節 需用費	269,501	賄材料費237,668、燃料費8,325、光熱費17,830
12節 委託費	212,014	警備補償277、配送業務3,932、調理業務132,686、生ごみ処理404、汚泥処理1,634、衛生管理アドバイザー330、維持管理運営業務72,751
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	551	県栄養士部会負担金16、学校給食費管理システム523
その他	17,608	機器賃借料3,353

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	105	食物アレルギー講演会講師謝礼100
10節 需用費	312,010	賄材料費270,682、燃料費120、光熱費38,120
12節 委託費	215,204	生ごみ処理1,100、衛生管理アドバイザー業務330、維持管理運営業務204,644 PFIモニタリング業務9,130
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,445	県栄養士部会負担金16、学校給食費管理システム導入負担金1,399
その他	12,245	機器賃借料3,592

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	学校給食法により義務教育学校には必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	工夫し、目標達成に向けて取り組んでいる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	学校と連携し、効率的に進めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり、一昨年度国・県の委託を受けて実施した「つながる食育推進事業」の取り組みを一部学校で実施できた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

「つながる食育」などを通しての取り組みを、食育の目標に沿って進める。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

学校と連携し、児童生徒の食育指導の推進に努めた。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--